

色段五匹 青段二十四

腰刀五把 扇三十把

大青盤二十個 小青盤四百個

青碗二千個

右、滿刺加国に咨す

成化五年（一四六九）八月十五日

一、差つわす正使 阿普斯

通事 林昌 陳泰

注（1）概管 担当の管理者。

（2）陳泰 久米村陳氏（仲本家）二世（『家譜（二）』四八六頁）。

1-41-15

琉球国王より暹羅国あて、読詩等を遣わして速やかな交易を請う咨（一四六九、八、一五）

琉球国王、暹羅国王殿下に移咨す。

恭んで詢たずぬるに、賢王の納福康裕なるを慰至と為す。且つ貴国と敵邦と、地遐はるか邈はるかにして風馬牛の相い及ばざるが如しと雖も、而も舟車の至る所、人力の通ずる所なり。前者船を遣わして彼おもむに適あくに、阻留して日久しく、風迅期を過ぐるを致すに因り、海に在

りて損失す。是を以て聘問を問へ闕たつ。今、特に正使読詩・通事魏鑑等を差つわし、贄ちを奉じ交聘せしめて以て貿易の宜を申のべ、庸もちて先後の雅意に答う。伏して希ねがわくは笑留せよ。其の船内に亦た瑣碎の方物有りて前来す。乞う、属に令行し作成して早すみやかに買売を与ゆえしめんことを。風信に赶趁して回帰すれば順便ならん。須らく咨に至るべき者なり。

今礼物を開ひく

色段五匹 青段二十四

腰刀五把 扇三十把

大青盤二十個 小青盤四百個

青碗二千個 硫黄二千五百斤

右、暹羅国に咨す

成化五年（一四六九）八月十五日

一、差つわす正使 読詩

通事 魏鑑 李進

注（1）風馬牛の相い及ばざる さかりのついた牛馬が互いに求めあつても及ばないほど遠く離れていること。

（2）前者船を遣わして 天順八年の船の遭難をさす。（四一〇三）

総注を参照。

（3）贄 礼物。